

# 「懲罰」のねらいは開発・利権への批判封じ

どう考えてもスジ通らない「懲罰」

「営業の自由侵す」?..「品位けがす発言」??..「みだりに席離れた」??  
理由がころころ変わる不当な「言いがかり」

市民も怒る不当な「懲罰」

「無理やり懲罰をしたいという感じで、共産党の過去の追及まで蒸し返していた。」15日の懲罰委員会を傍聴した男性

「新聞を読んで憤慨している。床屋に行った夫もみな怒っているって。」(党事務所への電話、女性)

「まったく道理がない。(懲罰)委員長は答弁不能、満足に理由も言えず『戒告』とは理解できない」(22日の本会議を傍聴した男性)。

ねらいは「口封じ」

新聞報道を見ても、市民の声を聞いても、まったくスジの通らない今回の「懲罰」。理由もころころ変わり、最後には総務部長に資料を渡したことを「みだりに席を離れた」とこじつけ。

とにかく日本共産党の口を封じたい、そんな本音が丸見えです。「懲罰」を強行した勢力は、いったい何を恐れているのでしょうか。

## 「懲罰」強行派は開発・利権勢力

この発端となった「丸市硝子」とは石井俊夫市議が代表を務めるガラス工芸会社。市の公共事業の下請け工事のうち、平川消防分署、平川公民館、小中学校改修など、ガラス工事のほとんどを受注している。資本金300万円、従業員3人。

その石井俊夫市議は、この4年間でたった一回の一般質問で「市街化で・(税収が)70倍ぐらいになる」(昨年12月議会)と熱心な「北側開発」推進派です。

関政彦市議もこの4年間で一般質問がゼロ。しかし、この九月議会では「懲罰動議でも定数削減でも提案者として「大活躍」。定数削減も「口封じ」のつもりでしょうか。

「懲罰」の急先鋒だった岡本上市議も露骨な開発推進派。保守の人たちも参加する「街づくり研究会」(「北側開発」の凍結・見直しを主張)を「市民を惑わす」(本年9月議会)と攻撃。これこそ「議会の品位をけがす発言」です。

9月6日の一般質問でしのぎ議員が..



市の公共事業の下請け先が一部の企業にかたよっているようです。(総務部長が忘れた資料を手渡す)・業者名を答えてください。

10人の市議が「議会の品位をけがす発言」と懲罰動議。15日の委員会では、理由が「みだりに席離れた」に。賛否同数のすえに委員長裁定で「戒告」懲罰を採択。

丸市硝子..

総務部長。

議長、動議! 篠崎議員の発言は・営業の自由を侵すものです。

※平戸市議

「あまりにもひどい」と

18日、12人の市議が「議会での言論の自由を守れ」と共同声明。

50人の傍聴者・報道陣の見つめるなか

22日の本会議では、まともな理由もつけられずに「戒告」懲罰を強行!

にもかかわらず

翌日の議会運営委員会では、録音テープも再生し、「不穏当な発言はなかった」と確認し、平戸市議のいいがかりを否決。

- 懲罰強行の14市議 (順不同、敬称略)
- 新国会
    - 関政彦、小野光正、鈴木喜久雄、出口清、鈴木勇、近藤利勝、林弥雄、石井俊夫
  - 市政懇話会
    - 岡本上、遠山修、平戸襄星野一郎
  - 鴻志会
    - 吉岡淳一
  - 公明党
    - 影山喜一

日本共産党は利権政治を許しません

# 日本共産党の2議席で 過大な「袖ヶ浦駅北側開発」の凍結・見直しで暮らしを応援します

議案提案権

## かけがえのない日本共産党の議席

市政を市民の目に見えるようにし  
みなさんの声を市政に届けます

日本共産党の議員は、毎議会必ず質問を行い、議会閉会後には「袖ヶ浦民報」や、駅前で議会報告を欠かしません。「議会のことがよく分かる」と評判です。

また、市民アンケートも独自に行い、市民のみなさんの声も直接市政に届けています。これまでも、入学前までの医療費窓口無料化や、ガウラ号の運行拡充など、みなさんといっしょに実現してきました。

さらに、ダンプの往来がすごく怖いという、横田の住民のみなさんの声にこたえて、すぐに行政

を動かし、住民

から「ダンプが徐行するようになった」と言

ばれるなど、みなさんの身近な相談相手としてがんばっています。

### 議員のあり方が問われています

4年間一度も発言（一般質問）なしが8人。1年に一度も発言しない（4年で4回未満）議員が16人。

ところが、市民負担増には熱心で、市民のささやかな願いは「オール与党」で拒否。市民の税金を100億円もため込んでいます。いま、議員のあり方が問われています。

条例・請願など	無所属	公明党	市民ネット	共産党
国保税引き下げ	反対	反対	反対	賛成
乳幼児医療費窓口無料化	反対	反対	-	賛成
水道料金値上げ	賛成	賛成	-	反対

## 不正・ムダづかいを許さず 議会制民主主義を守ります

日本共産党議員は、昨年も土地開発公社の土地取得問題を追及。綿密な資料をもとに、小泉市長の

親族や後援会員からの土地購入があることを明らかにしました。

市長は弁解するばかりでしたが、袖ヶ浦駅北側の土地取得については、農地法違反であることを、ついに認めました。

今年の9月市議会でも、袖ヶ浦駅北口開発の問

題や、市の公共事業の下請け先が現職市議会議員の経営するガラス工事業社にかたよっていることを追求し、不正や税金のムダづかいを許さないという、市民のみなさんの声にこたえて奮闘しました。

これに対して、開発・利権勢力は、「懲罰」で日本共産党議員の口を封じようとしてきました。しかし、不当ないがかりに毅然としてたたかい抜き、保守の議員からも議会制民主主義を守れと言う声があがっています。



## 豊かな財政力と百億円のため込み金生かし みなさんの願い実現のため、いっそう働きます

9月議会で定数が減らされ、日本共産党が現有二議席を確保すれば、市長と同じように条例が提案できるようになります。市民のみなさんの審判で、「北側開発」強行勢力を少数派に追い込むこと

ができれば、日本共産党の提案で、「北側開発」の凍結・見直しを決めることが出来ます。

全国有数の財政力と百億円のため込み金を、市民のために生かす政治を実現しましょう。



市議会議員 しのざき典之  
みなさんの願い実現のためにがんばります

国保税の一世帯2万円の引き下げ  
児童館 保育所の充実、保育料の引き下げ  
市内業者によるリフォームに10万円までの助成

住民の意見でガウラ号路線の拡充